



県議会レポート

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子

事務所：北上市青柳町1丁目5-39 TEL0197-72-7548 fax72-7549

自宅：北上市下江釣子16-154-3 (TEL&fax 0197-77-2126) E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.sato2007.com/

No.2 2016年(平成28年)7月

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

岩手で働く
岩手で育てる
岩手で暮らす

全国よりも低い賃金水準と長時間労働、「いわて働き方改革」で、労働環境の改善を(予算特別委員会で質疑しました)

岩手県の平均月額給与は28万3378円(全国平均31万6567円)、平均月間労働時間は岩手県158時間(全国平均145時間)、最低賃金は岩手県が695円(全国798円)で、全国最下位グループとなっています。

また、サービス残業の是正指導を受けたのは40社、2億4,000万円です。是正企業が最多となりました。人材確保、人口流出の悪循環を改善する必要が迫られており、「岩手働き方改革推進事業」がスタート。「岩手で働く」が2月に設立され、産業、経済、教育、金融、労働など24機関が連携することになりました。



イクボス宣言 (6月18日)

達増知事は、部下の仕事と家庭の両立に率先して取り組む「イクボス宣言」をしました。

▼自らがイクボスになる
▼全県的な機運の醸成に取り組み
▼県内の企業や団体にイクボスを増やす、の3項目を宣言。

「働き方改革」を進め、安心して子供を生み育てることが出来る岩手の実現に向けて全力で取り組む」と力強く述べました。(全国16県の知事がイクボス宣言済。)

県政報告会のご案内

とき 7月22日(金)午後6時30分
ところ 江釣子地区交流センター(大ホール)

意見交換会(交流会)は2000円会費です。

皆さまのご参加をお待ちしております。

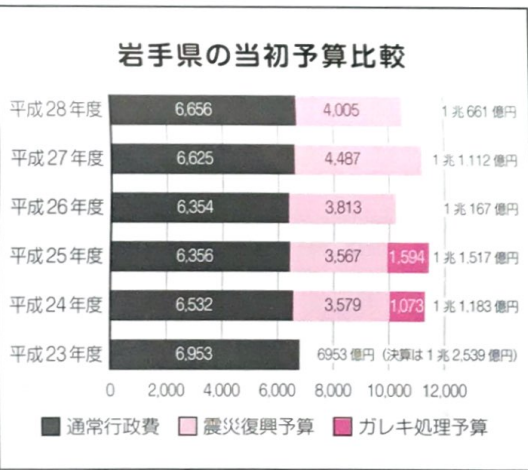
準備の都合上、参加連絡をお願いします。
連絡先 TEL0197-7217548 FAX7217549



※「イクボス」とは、ワークライフバランス(仕事と生活の両立)を考え、職員のキャリアと人生を応援しながら、組織の業績も結果を出しつつ、自らも仕事と私生活を楽しむことができる上司。イクメンは増えているものの、定時退社や育児取得は難しい現実。トップの意識改革が必要となっている。

平成28年度予算は、1兆661億円 「本格復興」と「ふるさと振興」に取り組んでいます

東日本大震災から5年。今年度予算のポイントは、復興を着実に進め、希望郷いわてを希望郷いわて大会を成功させます。そして、「ふるさとと振興総合戦略」で生き生きと暮らせる「希望郷いわて」の実現をめざします。



予算特別委員会

2月7日～18日まで予算委員会が行われ、復興への取り組み、PPPの影響試算、医療介護保育などの人材不足の問題等々、様々な観点から質疑が行われ、全会一致で予算が可決されました。

佐藤ケイ子の質疑(抜粋)

- ・保育所定員拡大の見込みと保育士の処遇改善の取り組みを。待機児童対策など、国の制度見直しを要請すべき。
- ・子どもの貧困対策を。(ひとり親家庭等セルフサポート事業、子ども食堂、学習支援の取り組みを。)
- ・介護施設の整備見込と介護人材確保の取り組みを。介護施設の抜き打ち指導とお泊りデーの実態把握を。
- ・老人クラブの補助金が遅い。早期支払いで活動支援を。
- ・「いわて働き方改革等推進事業」の具現化を。労働環境(労災事故、低賃金、長時間労働)の改善の取り組みを。

子育て支援プロジェクト 子どもと妊産婦の医療費助成 償還払いから現物給付へ変更(8月)

平成26年12月県議会で「子どもの医療費助成の現物給付化を求める請願」が採択され、岩手県は市町村が統一的に実施できるよう準備を進めてきました。

これまでは、医療機関で支払い、後日申請で払い戻されてきました(償還払い)。8月から未就学児と妊産婦は、窓口では受給者負担分のみ支払いとなります(現物給付)。

国は、「現物給付」を実施する市町村国保に、国庫負担を減額するペナルティを行っており、全国からペナルティ廃止の要請が出されています。

常任委員会報告

県議会の常任委員会は、「総務」「環境福祉」「商工文教」「農林水産」「県土整備」の5つの常任委員会構成となっています。佐藤ケイ子は、建設関係と企業局を所管する「県土整備委員会」に所属し、副委員長を拝命しています。

5/19~20 県土整備委員会調査で、久慈市・野田村・八戸市・一戸町へ

- ・久慈市では、「海女ちゃん」の小袖海岸への道路が1月の暴風雨の被害にあい、災害復旧工事中でした。断崖絶壁の地形のため厳しい工事で、平成30年度にむけ7億円の事業です。
- ・野田村は大震災で甚大な被害。防潮堤工事、土地区画整理、災害公営住宅、三鉄新駅設置等、復興事業が盛んに行われていました。住民合意までが大変だったようです。
- ・八戸では、平成30年就航の宮古~室蘭フェリーについて、宮古湾内のうねり対策などの課題を認識しました。今後、観光と物流の変化が期待されます。
- ・一戸町では、来年から運転の「高森高原風力発電所」の工事概要を伺いました。11基の風車を設置、最大出力25,300KW、年間供給電力53,000MWh(16,000世帯分)、総事業費127億円です。特徴は蓄電池システムで、不安定な風力発電が一定になるよう充電放電するとのことでした。

平成27年度 政務活動費収支報告

県議会から毎月31万円の政務活動費が交付され、領収書を添付して清算しました。今後も大切に使用させていただきます。

〈収入〉		〈支出〉	
政務活動費	1,860,000	政務活動費	310,000×6か月(10月~3月)
調査研究費	111,850	調査研究費	111,850
研修費	29,858	研修費	29,858
広聴広報費	286,540	広聴広報費	286,540
会議費	52,540	会議費	52,540
資料購入費	75,466	資料購入費	75,466
事務所費	237,517	事務所費	237,517
事務費	118,814	事務費	118,814
人件費	180,000	人件費	180,000
合計	1,092,585	合計	1,092,585

767,415 円を返還しました。

平均執行率は83%で、前年度比16%減少。全額使い切った議員は20人で、前年度比6人増でした。

どうも 県政報告会 を

開催します。

あなたの地区にお呼び下さい

2月26日、プランニュー北上で「県政報告会・新春パーティー」を開催し、約250名の皆様にご参加いただきました。



5月22日は、相去大堤地区で「県政報告会」を行いました。震災復興の状況、復興支援道路の物流効果、女性活躍と実態等の報告をしました。地元課題は、旧北上病院跡地への済生会病院の移転、北上駅前ロータリー変更工事の件、国見橋の歩道問題など経過を報告しました。懇親会では、「初めて県政報告会を聞いて、県や地域の情報を知ることができて良かった。また開催してほしい」と発言がありました。また開催して下さい。

i (あい) サポ を

知っていますか

「出会いを結ぼう、幸せにつなげよう」



「いきいき岩手結婚サポートセンター」は、結婚を望む若者に出会いの機会を提供し、結婚、子育てをする希望がかない、幸せを実感できる「希望郷いわて」が実現できるように、オール岩手の体制で設置されました。社員の結婚応援、会員の出会いを応援するため、婚活イベント、情報提供、マッチングなどを行なっています。平成27年度実績では、460人が登録し、お見合い件数は累計100件、交際は49組、成婚事例も出ています。

TPP コメ生産21億円減

岩手県が試算(5月23日)

岩手県は、環太平洋連携協定(TPP)が発効した場合、業務用米の価格低下を想定。主要品種のうち「ひとめぼれ」や「あきたこまち」を中心に21億円減額すると試算しました。県内産米の生産額は、年間約550億円。TPP発効での減少額は、38%に相当します。平成28年1月の国の試算では、影響額がゼロでしたが、生産者や県議会から疑問の声が上がり、独自基準での試算を実施。他県でも試算がされ影響額が増加する見込み。岩手県議会は、全国初の「TPP検証を求める意見書」を平成27年10月に多数決で可決しました。自民党、公明党が反対しました。

写真でみる活動日誌



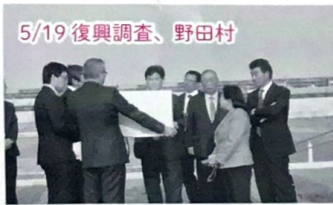
2/3 国道107号の土砂崩落復旧工事視察



5/31 宮古高看で看護人材育成視察



3/7~18 予算特別委員会



5/19 復興調査、野田村



5/20 八戸で宮古~室蘭フェリー就航の期待と課題を調査



6/9 田野畑村・島越駅復旧を視察

県議会の活動



5/26 県政市政「政策懇談会」



6/19 いわて女性議員と語る会(盛岡)

議会報告と意見交換



県政報告会

5/22 県政報告会(大堤)



5/6 東北の女性議員と街宣(盛岡)

政策を訴える活動



平野市議と毎週金曜日の朝街宣



5/29 安保法廃止を!

地域の活動に参加



5/29 錦秋湖マラソン



4/9 鯉のぼりを北上川に泳がせる会の作業



5/15 仙人うぼ杉に出会う



6/18 和賀川グリーンパークの花植え